

月度 個人山行報告書

報告者: 渡辺勝利

報告日: 05.11.29

山名	奥美濃	山行日	05年11月28日(土) ~	参加 メンバー	CL: 渡辺勝利 青山 武 福井正信
山行目的	毘沙門岳		05年11月29日(日)		
	全トヨタOB登山大会		(1泊 2日)		

配布先
集会: 枚
山行リ-ダ;
原紙;集会
担当者

ルート図(地図を見て正確に)

至石徹白
白山スキー場
車止め
毘沙門岳
1385.5m

2.5万分の1地図;

11/28		11/29 曇り	
13:30	刈谷発	6:10	起床
		7:00	出発
15:45	高鷲 中庸SPひるがの荘着	7:30	桧峠(白山スキー場入口)
		7:50	登山口
		8:00	駐車料 @1000
		8:30	リフト終点駅
		8:50	石徹白へのコル
		9:30	毘沙門岳頂上
		10:00	
		10:55	登山口
		11:30	ひるがの荘着
		13:00	昼食後解散
		15:00	刈谷着

< 山行記録 >

96年から始まった全トヨタ岳連OB登山大会は02年度からは毎年開催され、第6回目の大会となった今回は3名のちょっと寂しい参加者となった。刈谷を定刻に出発し、東海北陸道をほんの一走りであっという間に高鷲に着いた。本当に便利になったものだと高速道路の利便性をしみじみ感じている暇もないくらいのグッドタイミングで全トの山仲間が全員集合。16時ころから自発的に懇親会が始まり、いい加減盛り上がったところで織機の宮田さん以下のご尽力の「ちゃんこ鍋」も出来上がり、トヨタの伊藤先輩の戦中、戦後の苦労話に夜の宴も最大に盛上がったところで終宴となった。

明くれば『飯が出来たぞ』の声に起こされて起床し、まさに据え膳盛り飯の至れり尽くせりの朝食後、桧峠に向けて各社毎に出発。前谷から雪のない九十九折を峠までたどり、ここで白山スキー場へのゲートをくぐる。駐車場横の林道を下ったところに登山口があり、ここで車を止める。この林道の凹凸で車の前部が地面と接触し、フロントバンパーに亀裂が入ってしようとはこの時は知る由もなかった。

登山口からスキー場の左斜面の植林帯をわいわいがやがやと昨夜の余韻を楽しみつつ、しばらく登って尾根筋に出る頃には曇り空からポツリ、ポツリと降り始めたが、かまわずリフトの終点駅を越えちょっと下るとコルに着く。ここには石徹白へ下る踏み跡がかすかに残っている。歳は取ってもさすがは山のベテラン達で全く疲れたそぶりさえ見せず、一息入れた後、最後の登りにかかる。最初はちょっと急登するが、直ぐになだらかになりまもなくよく開けた頂上に着く。折りよく天気も回復し青空からは日差しも射しはじめたが遠方の視界は芳しくない。本来ならば白山の雄姿が望める北方は雲がかかり、わずかにウイングヒルズスキー場の人工雪ゲレンデが一筋白く光っている。昨年は季節はずれの台風の影響で断念したOB登山大会の2年越しの目標の毘沙門岳の登頂を祝して、今田君が大汗をかいってポッカしてくれた缶ビールで全員で乾杯。風もなく、ほろ酔い気分

で聞く横田先輩の豪放磊落な話もいつにも増して耳に心地よい。大休止後、往路をそのままノンストップで下りあっと言う間もなく駐車場に帰着。

その後はひるがの荘で留守部隊が作ってくれていた特性カラーライスの昼食をご馳走になり、次回の再開を約して散会となった。

< 追伸 >
フロントバンパーの件は年金会館駐車場で車の下に樹脂プレートが落下していたので、ディーラーへの修理依頼時に発見されたものであり、改めて最近の車の脆弱さを思い知らされたが「後の祭り」であった。

< リーダ所見 >
全トヨタのメンバーとの山行はいつも楽しく期待外れのないのが嬉しい。この集いが永く続くように、そしてその仲間であり続けたいと思う。

< フリースペース >
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



毘沙門岳頂上にて